

— 株主の皆様とのコミュニケーションツール —

# クラレ通信

第137期

2017年1—6月期 報告書

2017年1月1日～2017年6月30日

## CONTENTS

- 1 … 株主の皆様へ
- 2 … 業績ハイライト
- 3 … 決算概況 / 業績予想
- 5 … 【特集】クラレファスニング(株)  
田野倉社長インタビュー
- 7 … 株主優待制度導入のお知らせ
- 9 … クラレグループトピックス
- 11 … 財務情報
- 13 … 株式情報
- 14 … お知らせ
- 株 … 会社概要

株式会社 クラレ

## ▶ 2017年度第2四半期について



代表取締役社長 伊藤 正明

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間(2017年1月1日~2017年6月30日)の世界経済は、引き続き政情面の不安定要素がありましたものの、為替や原油価格の動向は比較的安定しており、概ね順調に推移しました。日本経済は、企業収益が拡大し、雇用・所得の改善によって個人消費に持ち直しの動きがみられ、景気は徐々に上向いています。米国経済は、力強い雇用状況を背景に個人消費が伸長し、好調を維持しました。欧州は、英国がEU離脱を選択した後も多くの懸念材料はありましたが、足元の景気は順調に推移しています。また、中国では政府主導による諸施策の効果が表れ、個人消費も上向き傾向にあり、回復が進んでいます。新興国も順調な世界経済の影響を受け、景気回復基調にあります。

このような状況において、当社グループは「世界に存在感を示す高収益スペシャリティ化学企業」を実現すべく、2015年度よりスタートした中期経営計画「GS-STEP」において掲げた経営戦略を順次実行しています。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比7,240百万円(3.0%)増の251,340百万円、営業利益は2,863百万円(8.3%)増の37,505百万円、経常利益は2,582百万円(7.7%)増の36,264百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,611百万円

(7.2%)増の23,988百万円となりました。

2017年度通期の業績については、原燃料価格が年初予想より高い水準で推移していることでコストアップが見込まれるものの、多くの事業が引き続き順調であることから業績予想を上方修正し、売上高5,300億円、営業利益750億円、経常利益730億円、親会社に帰属する当期純利益460億円を見込んでいます。

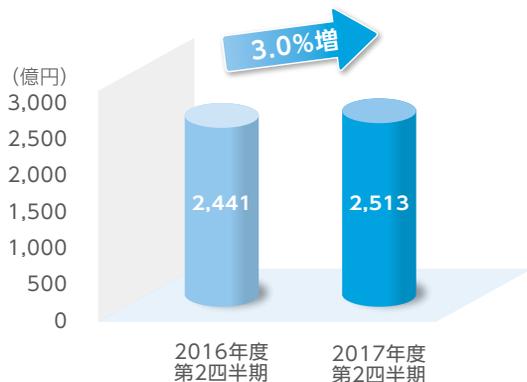
また、当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と位置付け、2015年度から2017年度の中期経営計画「GS-STEP」期間中においては、持続的な業績向上を通じた利益還元の増加を基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益に対する総還元性向35%以上、且つ1株につき年間配当金36円以上としています。中間配当金は期初に公表いたしました通り1株当たり20円とさせていただきます。当期の年間配当金につきましては、業績修正に伴い、年間の総還元性向35%以上にすべく、自己株式の取得や増配を検討しておりますが、現時点で利益還元方法が未定のため、年初公表の1株当たり42円(配当性向35.2%)に据え置かせていただいております。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援賜りますようお願い申し上げます。

伊藤 正明

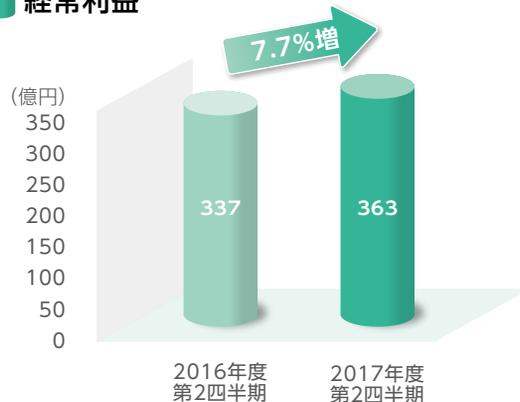
# ▶ 2017年度第2四半期業績ハイライト

## 売上高



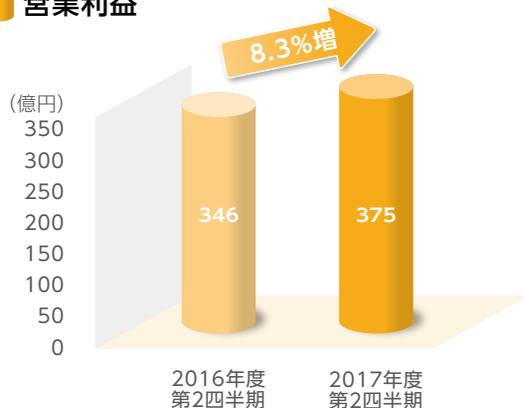
売上高は3.0%増の**2,513**億円になりました。

## 経常利益



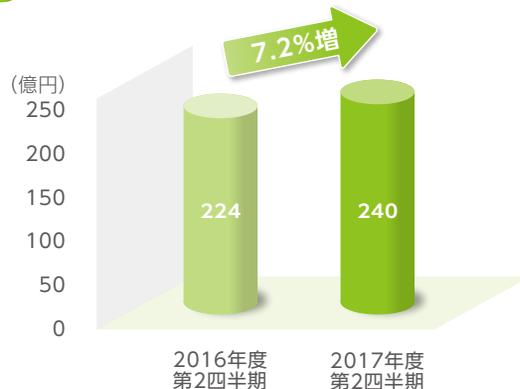
経常利益は7.7%増の**363**億円になりました。

## 営業利益



営業利益は8.3%増の**375**億円になりました。

## 親会社株主に帰属する四半期純利益



親会社株主に帰属する四半期純利益は7.2%増の**240**億円になりました。

# ▶ 2017年度第2四半期決算概況

当社の2017年度第2四半期の業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全てで前年同期を上回りました。

また上期業績として、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の全ての利益において過去最高を更新しました。

## 決算概況

(億円)

	2017年度上期	2016年度上期	増減	期初予想
売上高	2,513	2,441	+72(+3.0%)	2,500
営業利益	375	346	+29(+8.3%)	320
経常利益	363	337	+26(+7.7%)	310
親会社株主に帰属する 四半期純利益	240	224	+16(+7.2%)	200
各種前提				
円/ドル	112	112	—	110
円/ユーロ	122	125	—	120
国産ナフサ価格(千円/kl)	40	33	—	36

## セグメント別売上高・営業利益

(億円)

	2017年度上期		2016年度上期*		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
A ビニルアセテート	1,285	313	1,286	294	△1	19
B イソプレン	280	41	260	40	20	1
C 機能材料	346	34	339	20	7	14
D 繊維	264	29	239	30	25	△1
E トレーディング	627	19	591	19	36	0
F その他	237	14	222	6	15	8
調整額	△526	△76	△495	△62	△31	△14
合計	2,513	375	2,441	346	72	29

※従来「活性炭事業」、「エネルギー材料事業」をその他セグメントに区分していましたが、2017年1月1日のクラレケミカル株式会社の吸収合併に伴い、これらの事業を「炭素材料事業」に統合し、機能材料セグメントに編入しました。比較対象となる2016年度上期は変更後のセグメント区分に基づいています。

## セグメント別の状況

### A ビニルアセテート

ポパール樹脂は米国市場を中心に販売量が増加し、順調に推移しました。光学用ポパールフィルムは販売量が増加しました。なお、当第2四半期より西条事業所の新設備の稼働を開始しました。水溶性ポパールフィルムは引き続き需要が旺盛な個包装洗剤用途を中心に好調でした。PVBフィルムは高付加価値品の拡販が進みました。

EVOH樹脂〈エバル〉は、食品包装用途、自動車ガソリンタンク用途ともに販売量が拡大しました。

なお、当セグメントの売上高の減少は利益率の低い酢酸ビニルモノマー(VAM)の外部への販売を減らし、自家消費原料に向けたことによるものです。

### B イソプレン

イソプレン関連では、ファインケミカル、熱可塑性エラストマー〈セプトン〉、液状ゴムは原燃料価格変動の影響を受けたものの、堅調に推移しました。

耐熱性ポリアミド樹脂〈ジェネスタ〉は、自動車用途、コネクタ用途、LED反射板用途のいずれも数量が伸長し、順調でした。

# ▶ 2017年度通期業績予想

通期の業績予想について、原燃料価格が年初予想より高い水準で推移していることでコストアップが見込まれるものの、多くの事業が引き続き順調であることから、以下のとおり修正することとします。

## 2017年度通期業績予想

(億円)

	今回予想	期初予想	増減
売上高	5,300	5,300	-
営業利益	750	700	+50
経常利益	730	680	+50
親会社株主に帰属する 当期純利益	460	420	+40

前提としている下期の平均為替は米ドル110円、ユーロ120円、国産ナフサは43千円/kgです。

## 2017年度セグメント別業績予想

(億円)

	売上高			営業利益		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
ビニルアセテート	1,285	1,435	2,720	313	322	635
イソプレン	280	290	570	41	44	85
機能材料	346	384	730	34	31	65
繊維	264	256	520	29	26	55
トレーディング	627	653	1,280	19	21	40
その他	237	303	540	14	11	25
調整額	△526	△534	△1,060	△76	△79	△155
合計	2,513	2,787	5,300	375	375	750

## 2017年度配当金について

通期業績予想の修正に伴い、年間の総還元性向を35%以上にすべく検討をしておりますが、利益還元方法が未定のため、期初配当予想に据え置いています。

ご参考：期初配当予想

42円／株 予定 (中間：20円、期末：22円)

配当性向：35.2%

「GS-STEP」期間中の  
利益配分

- 総還元性向：35%以上
- 1株当たり配当金：36円以上

### C 機能材料

メタクリルは、主に樹脂の数量が伸長したことに加え、好市況を背景とした収益の改善により、好調に推移しました。

メディカルは、歯科材料のジルコニア系新素材の数量が寄与し、順調に推移しました。

人工皮革(クラリーノ)は、既存プロセス品ならびに新プロセス品ともに順調に推移しました。

炭素材料は、活性炭の高付加価値品の輸出が増え、順調に推移しました。

### D 繊維

ビニロンの数量が引き続き拡大しましたが、原燃料価格上昇の影響を受けました。

生活資材は、堅調に推移しました。

### E トレーディング

国内衣料分野はユニフォーム用途が堅調であったものの、スポーツ、フォーマル用途では苦戦しました。一方、中国では日系スポーツアパレル縫製品を中心に順調であったほか、ベトナムでも昨年行った増強投資の効果があり、縫製事業が拡大しております。また、資材分野は総じて堅調に推移し、樹脂・化成品関連分野は輸出を中心に順調でした。

### F その他

その他事業は、概ね好調に推移しました。

## ▶ ファスニング事業の商品戦略 ~新たな領域へ 新た



クラレファスニング(株) 代表取締役社長 田野倉 孔

### Q 1 面ファスナーといえば〈マジックテープ〉ですが、その歴史を教えてください。

皆様は〈マジックテープ〉という名前はよくご存じかと思いますが。また〈マジックテープ〉は、皆様の暮らしの中できっと当たり前のようにどこかに使われていると思います。実はこの〈マジックテープ〉という商品名はクラレの登録商標で、一般名称は面ファスナーと言います。

〈マジックテープ〉は1960年に当社の前身である日本ベルクロ(株)が米国ベルクロ社から技術導入し、日本で初めて製造・販売を開始しました。その時にわかりやすい商品名にしようと試行錯誤した結果、簡単に付いたり剥がれたりする魔法のテープとして〈マジックテープ〉の名が誕生しました。

販売開始当初はなかなか認知されずに大変苦労したそうですが、1964年に転機が訪れま



〈マジックバンド〉

した。東京オリンピックの開催に合わせて開業した東海道新幹線のヘッドレストに採用されたのです。これで一気に認知度が上がりました。その後、おむつカバー・靴・手袋・靴・アパレルなど、多くの用途に採用されていきました。

### クラレファスニング(株)沿革

1960年・日本ベルクロ(株)設立

1964年・クラレが日本ベルクロ(株)に資本参加

1984年・クラレが日本ベルクロ(株)を吸収合併

2004年・クラレがファスニング事業をマジックテープ(株)に移管  
・マジックテープ(株)からクラレファスニング(株)に社名変更

### Q 2 〈マジックテープ〉の主な用途を教えてください。

当社が製造・販売している面ファスナーには、フックとループからなる織製面ファスナー〈マジックテープ〉、成形技術による成形フック〈マジックロック〉・〈モールドマジック〉などがあります。

〈マジックテープ〉は通常フックテープとループテープに分かれており、靴・手袋・アパレル・血圧計やサポーターなどのメディカル用途、プラスチックケースなどの梱包資材用途、自動車内装などの工業用途など、あらゆる分野で使われています。その過程でさらにお客様の利便性を追求すべく当社が開発した商品が〈フリーマジック〉です。〈フリーマジック〉はフックとループを混在させることにより、ひとつのテープにフックテープとループテープの両方の機能を持たせた画期的な織製面ファスナーで、多くの分野で高い評価を頂いています。

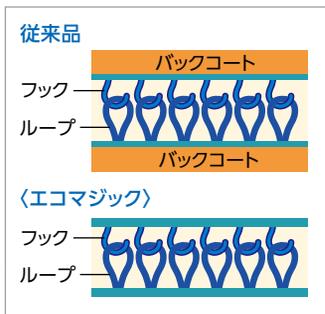
当社は〈フリーマジック〉以外にも面ファスナーに大きな変革をもたらしました。従来面ファスナーは大部分がナイロン素材でしたが、当社は耐熱性や耐水性に優れたポリエステル素材に一本化しました。またこれまでの面ファスナーでは樹脂をテープの裏側に塗工しなければなりませんでした。地糸に熱融着性の糸を使い新たに開発した製造方法で生産することにより、樹脂を塗工しない織製面ファスナーを作り上げました。これが〈エコマジック〉です。この新しい製造技術により、優れた耐熱性能を持つ〈エコマジック〉耐熱タイプなどの開発も進めています。また〈エコマジック〉の製造方法では、製造工程中の二酸化炭素発生量を従来工程に比べて30%も削減することができました。この環境への配慮が高く評価され、本年織研

# なチャレンジ

新聞社が主催する第47回「織研合織賞」において、「サステイナブル部門賞」を受賞しました。

今年中には当社の織製面ファスナーはすべて〈エコマジック〉に切り替わります。これからもポリエステル素材の特性を生かし、〈エコマジック〉ならではの商品を広く提供していきます。

成形フックの〈マジロック〉は押出成形の特徴を生かし、お客様の用途に合った形状のフックを作り、自動車のシートや天井固定などの内装分野、カーテンレールなどのインテリア分野で使用されています。最近では薄型の〈マジロック〉の裏面にループ材を貼り合わせた結束用〈マジックバンド〉が業務用・小売り用ともに好調に伸びています。また、転写型の連続射出成形フックの〈モールドマジック〉の製造・販売も開始しました。まだ販売を開始したばかりですが、既に自動車マット固定用に採用されるなど、予想以上に評判がよく、今後〈マジロック〉とともに用途開拓を加速していきたいと思っています。



## Q 3 事業の強化・拡大に向けての開発方針やターゲット領域を教えてください。

当社が目指しているのは、価格競争に打ち勝って汎用品を販売していくことではなく、当社にしかない独自商品を提供し、お客様の満足と信頼を着実に築いていくことです。開発面で意識しているのは、他社にはない独自の製造方法とそこから生み出されるオンリーワンの商品の開発です。〈エコマジック〉や〈マジロック〉はその一例と言えます。現在開発が一丸となって、クラレグループの差別化樹脂や繊維を使用した商品の開発に取り組んでいます。

そこから生まれた商品を、ここ数年力を入れて開拓を進めている航空機分野や自動車内装分野へ投入していくとともに、新たな用途を開拓していきたいと思っています。

また、これまでにない需要を創出すべく、昨年は〈マジックテープ〉のアイデアコンテストを開催し、300近いアイデアの応募がありました。今年以降も続けて、今までに思いもしなかった使用方法や〈マジックテープ〉を活用した製品を探索していく予定です。さらに、外部デザイナーやクリエイターの方々とのコラボレーションを始めており、デザイナーのアイデアによる商品の展示会への出展も始めています。

当社は他社にない商品やアイデアを武器に新たな領域を積極的に開拓していきます。



〈マジックテープ〉アイデアコンテスト

## Q 4 ファスニング事業の将来像を教えてください。

〈マジックテープ〉の用途はまだまだ拡大します。これは一例ですが、「面と面でくっつける」という機能では、内装用途中心の航空機・自動車・住宅などの分野において、組み立て部材への展開が考えられます。また「結束」という機能では、農業・林業・水産業などでの用途拡大が期待できます。

当社は事業化以来57年間蓄積した技術と経験を生かし、新たなチャレンジに取り組んでいます。当社の開発力や技術力、トップブランドとしての販売力、アイデアコンテストや外部の方々とのコラボレーションをはじめとする企画力のさらなる融合を進めることで、より一層の事業の強化・拡大を図り、これからも「最高の品質」と「最高のサービス」を提供するトップランナーであり続けます。



# ① 1,000株以上保有の株主様に オリジナルカタログギフトをプレゼントいたします。

このたび、株主の皆様への日頃からのご支援に感謝するとともに、当社グループ事業および製品に対するご理解を深めていただき、より多くの方に当社株式を保有していただきたく、株主優待制度を新設いたします。

- 1,000株以上保有の株主様に保有期間に応じてオリジナルカタログギフトをお送りします。オリジナルカタログギフトは2017年12月末の株主様名簿を対象として開始し、カタログギフトは毎年3月末の発送を予定しております。

▼ 詳しくは以下の表をご覧ください。

保有株式数	保有期間	基準月	優待内容
1,000株以上	3年未満*	12月末	当社製品が使用されている商品などから選べる3,000円相当オリジナルカタログギフト
1,000株以上	継続して3年以上*	12月末	当社製品が使用されている商品などから選べる10,000円相当オリジナルカタログギフト

\* 保有期間は毎年12月末時点の株主名簿に同一株主番号で連続して記載または記録された回数をもとに算出いたします。

## 例 3年未満の保有に当てはまるケース



## 例 3年以上継続保有を満たしているケース



## ② ご希望いただいた全ての株主様に オリジナルカレンダーを進呈いたします。

6月末には保有株式数に関わらず、ご希望いただきました株主様にオリジナルカレンダーを進呈いたします。オリジナルカレンダーは2018年6月末の株主様名簿を対象として開始し、カレンダーの発送は同年11月頃を予定しています。

なお、オリジナルカレンダーは例年「自然」をテーマに新鋭写真家の撮る作品で構成されており、各月を彩る美しい写真やたっぷり予定を書き込める日付欄など、ご好評をいただいております。



カレンダー表紙

※画像は2017年のカレンダーです。



カレンダー中間

### Q & A

#### Q オリジナルカタログギフトには どのようなものが掲載されるのですか？

当社グループの素材を使用した商品や、当社関連施設の優待券、当社グループ拠点所在地の名産グルメなどを掲載予定です。

#### Q いつまでに株式を購入すれば 株主優待を受けられますか？

オリジナルカタログギフトは毎年12月31日から3営業日前(権利付最終日)までに1,000株以上の株式を購入していただく必要があります。オリジナルカレンダーは毎年6月30日から3営業日前(権利付最終日)までに1株以上の当社株式を購入していただく必要があります。

#### Q 2,000株保有していますが、オリジナル カタログギフトは二冊もらえるのですか？

1,000株以上を保有して下さっている株主様には保有株数にかかわらず、株主様お1人につき一冊を差し上げます。

#### Q 申し込み期限を過ぎた優待申込書を提出 しても、受け付けてもらえるのですか？

オリジナルカタログギフト、オリジナルカレンダーともに期限内にお申し込みの無い場合は無効となります。予めご了承くださいませようお願いいたします。

# ▶ 2017年1-6月のクラレグループの主なニュース

## 光学用ポバールフィルムの 新生産ラインの竣工式を開催

西条事業所において光学用ポバールフィルム生産設備の新ラインが完成し、1月27日に竣工式を開催しました。当日は愛媛県副知事や西条市長をはじめ多くの来賓をお迎えし、式典は滞りなく終了いたしました。

今回の増設により光学用ポバールフィルムの生産能力は、西条事業所と倉敷事業所の合計で2億3,200百万㎡となりました。新ラインでは、市場からの薄型化などの高度なニーズに対応する高品質な光学用ポバールフィルムを安定的に生産します。



竣工式でスピーチをする  
伊藤社長

## 〈エコマジック〉が織研合織賞を受賞

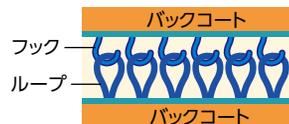
クラレファスニング株式会社は、第47回「織研合織賞」において《サステイナブル部門賞》を受賞し、3月15日にロイヤルパークホテルで贈呈を受けました。

本賞は、織研新聞社が主催し、繊維業界の優れた素材、技術開発、マーケティング活動などに贈られるものです。クラレファスニングの環境に配慮した面ファスナー〈エコマジック〉が、その開発と販売で〈マジックテープ〉の頂点商品として高く評価され、受賞となりました。

### 〈エコマジック〉とは

クラレファスニングが開発した環境への優しさを追求した面ファスナーです。従来の面ファスナーは、通常裏面に補強用バックコート剤として有機溶剤が必要なポリウレタン系樹脂を使用していましたが、バックコート剤を使用しない新生産方式による〈エコマジック〉は、環境対応型の面ファスナーです。

### 従来品



### 〈エコマジック〉



2017年

1月

2月

3月

## 液状ファルネセンゴムLFRが自動車用タイヤで初採用

液状ファルネセンゴムLFR(Liquid Farnesene Rubber)が、住友ゴム工業株式会社の最新スタッドレスタイヤ、「ダンロップ WINTER MAXX 02」に高機能化添加剤として採用されました。LFRが高い安全性と性能が求められる自動車用タイヤで採用されたのは、今回が初めてとなります。

当社ではこれまでにLFRの様々な特長を見出し、今後もタイヤのみならず、多岐に渡るお客様の要求性能に合わせ、LFRの分子設計を最適化し、用途展開を進めていきます。

### 液状ファルネセンゴムLFRとは

発酵技術によってサトウキビから製造される「ファルネセン」を用いた当社独自開発の液状ゴムです。「ダンロップ WINTER MAXX 02」用に専用設計されたLFRは、ゴムコンパウンドに配合することで、低温下でのタイヤの氷上グリップ性能を高めるとともに、経年劣化によるゴムコンパウンドの硬化を抑制し、その性能維持に寄与しています。



**WINTER  
MAXX 02**

写真提供：住友ゴム工業株式会社

# をご紹介します。

※記載している情報は発表日時点のものです。

## 米国における 水溶性ポパールフィルム 生産設備の増設を決定

米国現地法人モノソルでの水溶性ポパールフィルム生産設備の増設を決定しました。今回の増設は個包装洗剤などに使用される水溶性ポパールフィルム  
の需要拡大に対応するもので、昨年4月に竣工式を開催した米国第3工場において生産設備を増設します。



ポパールフィルムを使用した  
個包装洗剤

### 設備増設の概要

場 所	米国・インディアナ州・ポルテージ
稼働時期	2018年上期(予定)

4月

5月

6月

## 〈PLANTIC〉R が 「第29回 デュポン パッケージング賞」を受賞

オーストラリア現地法人Plantic Technologies Limitedは、「第29回デュポン パッケージング賞」(主催:米デュポン社)において、ダイヤモンドアワード・ファイナリスト賞を受賞しました。

「デュポン パッケージング賞」は、米国大手化学メーカーのデュポン社が1986年に始めた包装業界における、デザイン、素材、技術、生産プロセス、サービスなどのイノベーションを評価、表彰する世界的に権威のある賞のひとつです。〈PLANTIC(プランティック)〉Rの環境適応性やリサイクル性が評価され、受賞となりました。

### 〈PLANTIC〉とは

Plantic Technologies Limitedが開発したバイオマス由来のバリアフィルムで酸素バリア性が高く、生鮮食品の包装材として使用されています。食品鮮度を保持することで食品ロスの削減につながり、食品産業と環境保全の両面に貢献します。



〈PLANTIC〉Rを使用した  
パッケージ

## 〈エパール〉米国生産開始30周年、欧州設立20周年

昨年12月に米国における〈エパール〉生産開始30周年を迎えました。これを記念して、本年3月22日に米国現地法人クラレアメリカにおいて記念式典を開催しました。当日は、在ヒューストン日本国総領事をはじめとする多くの来賓をお迎えし、日本の伝統的儀式である「鏡割り」なども行いました。また〈エパール〉のプラントに使用されていた配管の一つを用いた生産開始30周年記念のモニュメントを制作しました。

またベルギー現地法人エパールヨーロッパにおいても本年設立20周年を迎え、6月9日に従業員とその家族を招待し記念式典を開催しました。

〈エパール〉の世界需要は伸長を続けており、安定供給体制を維持するために生産能力の増強を行っています。昨年完了したエパールヨーロッパでの増強に続き、現在はクラレアメリカでの増強を進めています。



クラレアメリカ エパール工場に設置した  
米国生産開始30周年記念のモニュメント



エパールヨーロッパで  
スピーチをする伊藤社長

### 〈エパール〉の生産能力(トン/年)

	増強前	2016年稼働開始	2018年稼働予定	増強後
日本	10,000			10,000
米国	47,000		11,000	58,000
欧州	24,000	11,000		35,000
合計	81,000	11,000	11,000	103,000

# ▶ 2017年度第2四半期

## 連結損益計算書の要約

(単位:億円)

科目	第2四半期*1	前第2四半期*2	増減
<b>売上高</b>	<b>2,513</b>	2,441	72
売上原価	1,629	1,599	30
売上総利益	885	842	43
販売費及び一般管理費	510	495	14
<b>営業利益</b>	<b>375</b>	346	29
営業外収益	18	31	△13
営業外費用	30	41	△10
<b>経常利益</b>	<b>363</b>	337	26
特別利益	25	—	25
特別損失	37	—	37
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>351</b>	337	14
法人税、住民税及び事業税	119	100	18
法人税等調整額	△12	8	△20
<b>四半期純利益</b>	<b>244</b>	228	16
<b>非支配株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>4</b>	5	△0
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>240</b>	224	16

\*1: 2017年1月1日～2017年6月30日 \*2: 2016年1月1日～2016年6月30日

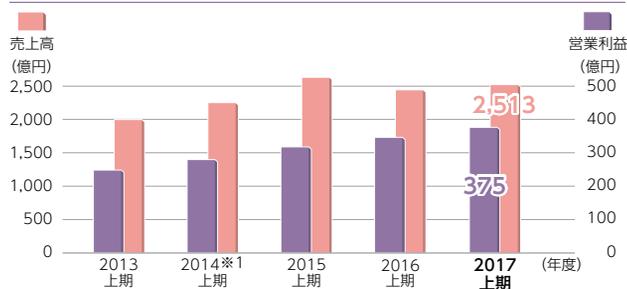
## 連結貸借対照表の要約

(単位:億円)

資産の部	第2四半期*1	前期*2	増減
<b>流動資産</b>	<b>3,342</b>	3,250	92
現金及び預金	454	514	△60
受取手形及び売掛金	1,057	1,050	7
有価証券	475	391	85
棚卸資産	1,199	1,113	86
繰延税金資産	58	60	△2
その他	102	127	△25
貸倒引当金	△4	△5	0
<b>固定資産</b>	<b>4,037</b>	4,005	32
<b>有形固定資産</b>	<b>2,780</b>	2,718	62
建物及び構築物	589	543	46
機械装置及び運搬具	1,656	1,630	27
建設仮勘定	287	299	△12
その他	247	246	1
<b>無形固定資産</b>	<b>767</b>	795	△29
<b>投資その他の資産</b>	<b>490</b>	491	△1
投資有価証券	326	340	△15
その他	165	151	14
貸倒引当金	△0	△0	△0
<b>資産合計</b>	<b>7,379</b>	7,254	124

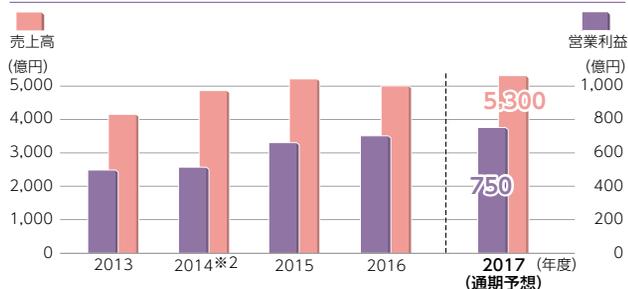
\*1: 2017年6月30日現在 \*2: 2016年12月31日現在

## 上期売上高・営業利益



※1 当社は2014年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。比較のため、2014年上期は2014年1月～6月に補正した数値を示しております。  
 ※2 2014年度通期は2014年1月～12月の12ヵ月に補正した数値を示しております。

## 通期売上高・営業利益



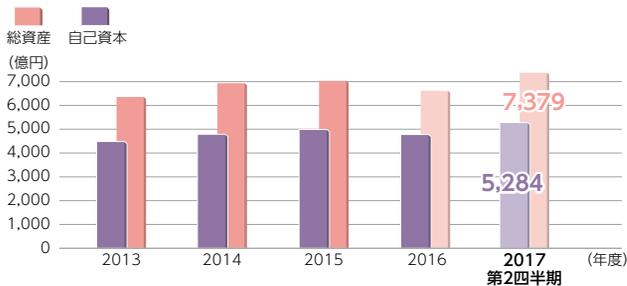
※損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書の金額表示は、億円未満を四捨五入しています。

(単位:億円)

負債の部	第2四半期*1	前期*2	増減
<b>流動負債</b>	<b>905</b>	961	△ 56
支払手形及び買掛金	360	364	△ 4
短期借入金	76	76	△ 0
その他	468	521	△ 52
<b>固定負債</b>	<b>1,109</b>	1,083	26
社債	100	100	—
長期借入金	421	422	△ 0
その他	588	561	26
<b>負債合計</b>	<b>2,014</b>	2,045	△ 30
純資産の部	第2四半期*1	前期*2	増減
<b>株主資本</b>	<b>4,938</b>	4,764	173
資本金	890	890	—
資本剰余金	872	872	0
利益剰余金	3,211	3,043	168
自己株式	△ 35	△ 40	5
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>346</b>	365	△ 19
その他有価証券評価差額金	114	109	5
繰延ヘッジ損益	0	△ 1	1
為替換算調整勘定	272	301	△ 28
退職給付に係る調整累計額	△ 40	△ 43	3
<b>新株予約権</b>	<b>6</b>	7	△ 1
<b>非支配株主持分</b>	<b>75</b>	73	2
<b>純資産合計</b>	<b>5,365</b>	5,210	155
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>7,379</b>	7,254	124

\*1：2017年6月30日現在 \*2：2016年12月31日現在

## 総資産・自己資本



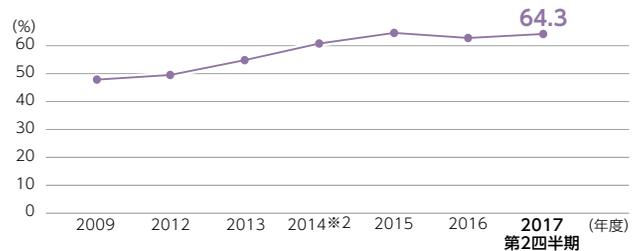
## 連結キャッシュ・フロー計算書の要約

(単位:億円)

科目	第2四半期*1	前第2四半期*2
<b>1.営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>397</b>	398
税金等調整前四半期純利益	351	337
減価償却費	203	200
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△ 64	△ 110
その他営業活動による支出	△ 92	△ 29
<b>2.投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 551</b>	△ 254
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 279	△ 244
その他投資活動による収支	△ 272	△ 10
<b>3.財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 75</b>	△ 72
借入金の純増減額	△ 0	9
配当金の支払額	△ 74	△ 77
その他財務活動による収支	△ 1	△ 4
<b>4.現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△ 0</b>	△ 32
<b>5.現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 229</b>	41
<b>6.現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>834</b>	548
<b>7.新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額</b>	<b>2</b>	2
<b>8.現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>607</b>	591

\*1：2017年1月1日～2017年6月30日 \*2：2016年1月1日～2016年6月30日

## 海外売上高比率推移

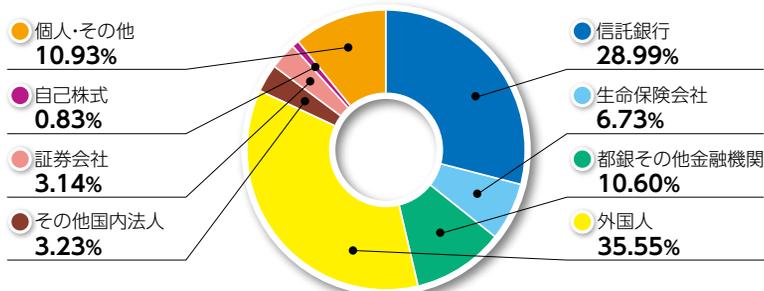


# ▶ 株式情報について

## 株式の状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
<b>1,000,000,000株</b>	<b>354,863,603株</b>	<b>38,379名</b>

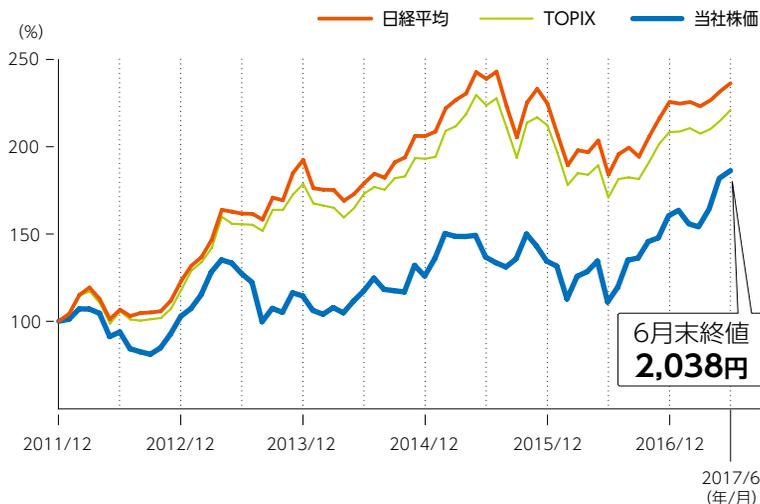
## 株主構成 (持株比率)



## 当社株価と主要指標との比較

(2011年12月～2017年6月)

2011年12月を100として、各指標の動きを指数化して比較しています。



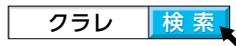
## 投資家向けページのご案内

当社ホームページ内の投資家向けページでは、決算情報の提供に加え、決算説明会や株主総会の模様の動画配信などタイムリーに情報を掲出しています。

是非ご覧ください。



<http://www.kuraray.co.jp>



## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

### 株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎ 0120-782-031  
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9時～17時)

# ▶ アンケートご協力をお願い

アンケート回答期限：2017年10月20日(金)

「クラレ通信」をご覧いただきまして、ありがとうございます。今後とも株主の皆様との双方向のコミュニケーションを図っていきたく思っております。

つきましては、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、プレゼントをスピーディーにお届けするため、アンケートの回答を原則Web経由とさせていただきます。将来的にWebのみの受付に集約することを考えておりますので、パソコンから以下アンケートサイトにアクセスの上、是非ご利用くださいますようお願いいたします。

## Present

ご回答いただいた方には、もれなくアルパカの「クラレちゃん」プチぬいぐるみ1体をプレゼントいたします。



アルパカの「クラレちゃん」プチぬいぐるみ1体

ミラバケッソCMのマスコットキャラクター アルパカの「クラレちゃん」プチぬいぐるみのお仕事バージョンです。

写真の「書道家クラレちゃん」、「パティシエクラレちゃん」、「お花屋クラレちゃん」の3種類のうちいずれか1体をお届けします。

わき腹の部分を押すと「ミラバケッソ」と可愛く鳴きます。

### アンケートサイト(画面)への接続方法

Yahoo! JAPAN<sup>®</sup>やGoogle<sup>®</sup>などの検索エンジンからアンケートサイトを呼び出します。

株主ひろば 検索

または、下記URLを入力ください。

[kabuhiro.jp](http://kabuhiro.jp)

### ご回答方法



アンケートサイト画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバー●●●●●●●●を入力の上、回答画面にお進みください。事前に同封の配当金計算書・配当金領収証をお手元にご準備ください。

アンケートナンバー

●●●●●●●●

アンケート画面に進む

### 操作方法などの問い合わせ先

株式会社クラレ IR・広報部

電話：03-6701-1075

平日 9:00-12:00/13:00-17:30 土日祝 休み

\* インターネットをご利用できない場合は、添付のアンケートはがきによるご回答も受付いたします。なお、はがきによるご回答の場合、プレゼントの発送が遅れる場合がございます。予めご了承ください。

クラレは世界的な社会的責任投資(SRI)株式指数の構成銘柄に選定されています。

## 会社概要

<b>社名</b>	<b>株式会社 クラレ</b>
<b>英文社名</b>	<b>KURARAY CO., LTD.</b>
<b>設立</b>	1926(大正15)年6月24日
<b>資本金</b>	890億円(2017年6月30日現在)
<b>東京本社</b>	〒100-8115 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル TEL(03)6701-1000 FAX(03)6701-1005
<b>大阪本社</b>	〒530-8611 大阪市北区角田町8-1 梅田阪急ビル オフィスタワー TEL(06)7635-1000 FAX(06)7635-1005
<b>ホームページ</b>	<a href="http://www.kuraray.co.jp">http://www.kuraray.co.jp</a>

## クラレグループの主な事業

<b>ビニルアセテート</b>	ポパール樹脂・フィルム、PVB樹脂・フィルム、EVOH樹脂・フィルムの製造・販売
<b>イソブレン</b>	イソブレン系化学品、ポリアミド樹脂の製造・販売
<b>機能材料</b>	メタクリル樹脂、メディカル関連製品、人工皮革、炭素材の製造・販売
<b>繊維</b>	ビニロン、不織布、面ファスナー、ポリエステル繊維の製造・販売
<b>トレーディング</b>	繊維製品、樹脂、化学品の輸出入・卸売
<b>その他</b>	水処理用高性能膜・システムの製造・販売、エンジニアリング事業

- (注) 1.この冊子に記載した当社財務データはすべて連結ベースです。  
 2.この冊子に記載の( )をつけた名称は、当社グループの製品の商標です。  
 3.この冊子に記載した億円単位の当社財務データ(実績値)は、億円未満を四捨五入して表示しています。

## 役員 (2017年6月30日現在)

代表取締役社長	伊藤 正明
代表取締役・専務執行役員	松山 貞秋
取締役・専務執行役員	久川 和彦
取締役・専務執行役員	早瀬 博章
取締役・常務執行役員	中山 和夫
取締役・常務執行役員	阿部 憲一
取締役・常務執行役員	佐野 義正
取締役・常務執行役員	豊浦 仁
取締役(社外取締役)	浜口 友一
取締役(社外取締役)	浜野 潤
常勤監査役	村上 敬司
常勤監査役	雪吉 邦夫
監査役(社外監査役)	藤本 美枝
監査役(社外監査役)	岡本 吉光
監査役(社外監査役)	名倉 三喜男
常務執行役員	柏村 次史
執行役員	マティアス グトヴァイラー (Matthias Gutweiler)
執行役員	ジョージ アブディ (George Avdey)
執行役員	山根 幸則
執行役員	大村 章
執行役員	林 洋秀
執行役員	P. スコット ベニング (P. Scott Bening)
執行役員	ステファン コックス (Stephen Cox)
執行役員	津軽 利紀
執行役員	高野 浩一
執行役員	高井 信彦
執行役員	尾松 俊宏
執行役員	川原 仁
執行役員	鈴木 一
執行役員	中村 育雄
執行役員	松崎 一朗
執行役員	多賀 敬治

## 【表紙の写真について】 当社グループ社員が撮影した写真を表紙に使用しています。

所 属：クラレクラフレックス(株)  
 岡山工場 開発グループ  
 名 前：落合 徹  
 タイトル：車窓に広がる青と緑  
 撮影場所：スイス ローザンヌ

撮影者のコメント：欧州出張中に、列車の車窓から撮影した田舎の風景です。いつまでも続くのどかな風景に仕事を忘れて一人旅をしている気分になっていました。透き通る青空に「優しさ」を、緑の息吹に「力強さ」を感じるお気に入りの写真です。